

彩の国 埼玉



埼玉県空手道連盟

時報

（第6号）編集兼発行 埼玉県空手道連盟 女性・広報委員会

会員の皆さん、コロナ禍でも他者を思いやる心を忘れずに！

特集！「初段を取得したら目指そう！空手道マスター」



広く地域に普及している空手道ですが、指導者の育成が急務とされています。保護者が子供に習わせたいお稽古事として、「礼儀作法を教えてくれる」「体が丈夫になる」「心が強くなる」など空手道への期待は大いにあります。しかし、勝利至上主義に陥ったり、楽しさを見出す前にやめてしまったり、道場や部活動では、練習内容の魅力化や年齢に応じた適正な運動量の確保など指導者への期待が年々増していると感じます。せっかく空手道を志したなら、試合の勝ち負けだけでなく、審査への挑戦、様々な資格取得への取り組み、仲間やあらゆる年齢層との交流など、続ける魅力はたくさんあります。そして、空手道で学んだ礼儀作法やコミュニケーション、体力、忍耐力など自分が学んだ事柄を後世に残す義務があると感じます。

「空手道って、こんなにいいもの！」きっと人によってその「いいもの」は様々ですが、その礎となる空手道を通しての「いいもの」を是非残していきましょう！自分自身が目標を高く持ち、段位、資格の取得に励みながら人間力を高めていく、幾つになっても目標を持ち続けていくことが生きがいとなり、健やかに生活する支えになると思います。

今月号では、段位取得を目標にしながら、同時進行で資格取得のタイミングがわかるような図を作成しました。（2ページ参照）是非こちらを参考に、チャレンジしていただきたいと思います！

第17回全日本障がい者空手道競技大会

6月5日（土）東京武道館

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となり、本大会は2年ぶりの開催となりました。本県選手団の活躍は大変素晴らしく、日頃から心身ともに鍛錬をされていることが伝わり、持てる力を存分に発揮してコートに立つ姿は美しかったです。競技後は、選手の皆さんが来年の再開を誓い合い友情を深め合う姿が大変印象的でした。



五段取得を目指し、様々な資格にもチャレンジしよう！

初段チャレンジ 公認1級取得者 満15歳以上(義務教育を修了した者)

初段取得

20歳より県連盟主催の審判講習に参加できる

二段チャレンジ 公認初段取得後1年以上

二段取得

日本スポーツ協会 **空手道コーチ1**取得可

20歳 ⇒ **埼玉県組手審判**取得可



三段チャレンジ 18歳以上 2段取得後1年以上

三段取得

空手道歴7年以上・24歳以上⇒日本スポーツ協会 **空手道コーチ2**取得可

空手道歴7年以上・満25歳以上⇒公認**都道府県組手組手審判員登録**

日本スポーツ協会空手道コーチ1以上・都道府県組手審判取得後2年以上
・空手道歴8年以上・満27歳以上 ⇒**地区組手審判員**取得可

地区組手審判・日本スポーツ協会空手道コーチ1以上・満30歳以上⇒**埼玉県形審判**取得可



四段チャレンジ 満23歳以上 3段取得後2年以上

四段取得

空手道歴12年以上・28歳以上⇒日本スポーツ協会 **空手道コーチ3**取得可

日本スポーツ協会空手道コーチ1以上・地区組手審判取得後3年以上
・空手道歴11年以上・満30歳以上 ⇒**全国組手審判員**取得可

地区・全国組手審判・日本スポーツ協会空手道コーチ以上・満30歳以上⇒公認**都道府県形審判員登録**

五段チャレンジ 満26歳以上 4段取得後2年以上

五段取得

空手道歴15年以上・32歳以上⇒日本スポーツ協会 **空手道コーチ4**取得可

公認都道府県形審判取得後3年以上・日本スポーツ協会空手道コーチ2以上
・満30歳以上 ⇒**地区形審判員**取得可

5段取得後1年以上・(組手・形)地区審判員・日本スポーツ協会空手道コーチ2以上・40歳以上

5段以上・(組手・形)地区審判員以上・日本スポーツ協会空手道コーチ3以上・錬士⇒**三級資格審査員**

三級資格審査員資格を取得すると県級審査・公認三段までの審査員として依頼を受けることになります。

※資格を維持するためには、2年に1回全空連主催の講習会を受けることが義務とされています。